

栃木県議会議員

# 平木ちさこ 活動レポート

# 元気ネット

発行  
平木ちさこ  
事務所  
〒321-1274 栃木県日光市土沢1962  
TEL 0288-26-6739  
FAX 0288-26-6759  
Eメール hiraki-chisako@nifty.com

ホームページ <http://hirakichisako.com> (奇数月末日更新)

**し**ばらく動きがなかった横根高原のメガソーラー建設について、7月初旬に日光市議会の全員協議会に計画の概要と経緯について報告があった。

横根高原は鹿沼市と日光市足尾地区にまたがる湿原。そこに日光市側の59ha(約2km×0.3kmの広さ)の木を伐採して、ソーラーパネルを敷き詰め太陽光発電施設を作る計画だ。発電量は約43.5MW。送電は県道の地下に送電線を埋設して現地から栗野発電所への38kmの距離を送る計画だ。

当初、鹿沼と日光の両市にまたがる計画だったが、鹿沼市はすでに28年11月の事業者からの事前相談の際に「特別指定の県立公園内でもあり、環境保全等を理由に建設地として不適である」との回答を行っている。

そのせいか?今年3月に日光市のみへ「自然公園普通地域内工作物の新築行為届出書」が提出された。しかし、このメガソーラー建設に対して日光市議会でも昨年6月に知事に向けた「横根太陽光発電所建設差し止め措置実現に向けた陳情」を採択している。秋には横根の自然を守る市民の会から11,900筆の反対署名が提出されている。

\*

**今**後、四季調査で自然環境への影響も調査されて行く。現地には日本南限のチシマウスバスマシの植生も確認されている。

木を伐採しハゲ山になった時の土石流の心配もある。足尾に緑を育てる会や、森びとプロジェクトなどの主催で毎年、多くの人たちが植樹を行い、下草を刈り、鹿避けのネットを巻き、通年して緑を甦らせようとしている足尾の山。

その一方で、広大な山の木を伐採するとはどうにも納得がいかない。横根はその昔、足尾の人たちが開拓に入った地でもあり、今なお足尾の中央水道水として、450軒ほどの家々が横根からの水を引きろ過して使用している。

昨年の春に現地を見に行った時には下界が暑いくらいの日だったが、横根高原は風花が舞っていた。永年、足尾に住む人によると、計画地は日照時間が短い地域であり、かつ人体には感じないが小さな地震が頻繁に起きていて、どう考えても適地とは言えない、と話している。

今後、県のガイドライン「栃木県太陽光発電施設の設置・運営等に関する指導指針」や「栃木県土地利用に関する事前協議」

に基づく事前相談が始まるが、日光市の林地開発許可も必要となり、少なくとも1年はこの段階でかかる。

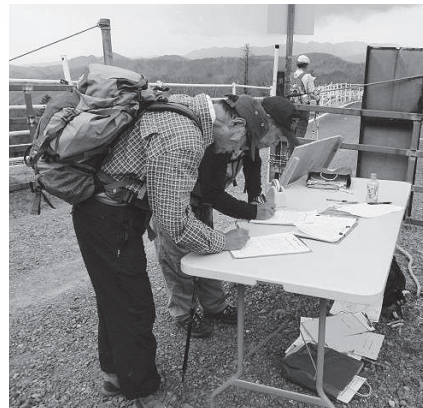
県のガイドラインには、立地を避けるべきエリアの設定について『太陽光発電の用地の選定に当たっては、法的な規制の有無や採算性だけでなく、防災、環境保全、景観保全等も含めた幅広い観点から検討する必要がある』としている。

同じく今年4月に施行された「日光市太陽光発電設備設置事業と地域環境との調和に関する条例」の目的第1条には『この条例は市内に太陽光発電設備を設置する事業が地域環境に及

ぼす影響に鑑み、設置事業に関して必要な事項を定めることにより、設置事業と地域環境との調和を図り、もって良好かつ安全な市民生活及び持続的に享受し継承される自然の保持を目的とする』とある。

県の担当者は「日光市はどうしたいのか、それがまず問題です」と言う。これからが正念場となる。

足尾の山の木が伐られ、  
ソーラーパネルで  
ピカピカに?!



▲現地には貴重な「チシマウスバスマシ」が植生している

◀ハイカー反対署名運動

私は自然エネルギーについては賛成だが、まずは地産地消で自宅や企業の屋根や敷地内で集めた電力を自前で使うやり方で省エネを図って行くのが身近な一歩であり、今回のような自然を破壊する大きな太陽光発電施設の建設には反対だ。

\*

**現**在、大手家電メーカーでは、家々の壁に取り付けられる太陽光パネルを開発中だという。大きなソーラーを設置してその儲けをよそに持って行かれるよりも、エネルギーも地産地消、自家産自家消費へと時代は動いている。

コンビニ業界も省エネに力を入れている。セブンイレブンは全国の8,000店舗、ローソンやファミリーマートもそれぞれ2,000店舗に太陽光パネルを設置し、実証実験を始めている。

## 県が東京電力へ損害賠償を請求

**福**島原発事故に係る東京電力への損害賠償について、県はこれまで6回にわたり請求してきたが、支払いが一部に止まっている。そのためこの度、早期解決をめざし第三者の公的な機関である「原子力損害賠償紛争解決センター(ADR)」に和解の仲介を申立てる旨、議会に承認を求めた。

**申**立は昨年12月までに東電へ行った6回の損害賠償請求のうち、第一次・二次分の支払未合意額約2億3,312万円の仲介を要請する。和解状況によっては、残る3次請求以降の支払未合意額約1億5,700万円にも影響が及ぶこととなる。事故対応への職員の残業代、検査機器の費用等が含まれている。「福島原発事故」は未だ終わっていない。

# 働く人たちの8%が LGBTの生きにくさを感じている!



## ◆LGBTとは?

- L (レズビアン=女性同性愛者)
- G (ゲイ=男性同性愛者)
- B (バイセクシャル=両性愛者)
- T (トランスジェンダー=出生時に割り当てられた性別と性自認が異なる人)

日本労働組合総連合の2016年の調査では1,000人の内80人が生きにくさを感じているという。

連合栃木や自治労栃木県本部等が主催構成する7.14栃木県人権研究集会では、連合本部の総合男女・雇用平等局の担当者が、連合の取組について熱心に語った。

企業における採用の際の配慮や差別・ハラスメントの禁止、相談体制の強化、トイレ、制服、更衣室等の環境整備、パートナーへの福利厚生、カミングアウトへの支援、その他、働く現

場での理解を進める方針をガイドラインで詳しく示している。

## ◆労働組合がなぜこの問題に取り組むのか?

この問いに対し「人権を率先して守ってゆくの労働組、すべての人の人権課題として取り組んで行く」と固い決意が述べられた。(参照:連合SOGI(性的指向・性自認)ガイドライン)

私の周囲にも制服のスカートをはきたくない女の子、詰襟を着たくない男の子がいる。同性婚や、パートナーとしての承認、入院時の意志の決定や相続問題など身近な問題であり、制度として向き合って行かねばと、思う。

渋谷区では、条例により同性のパートナーに証明書を発行している。世田谷区、伊賀市、宝塚市、那覇市、札幌市、福岡市では首長の要綱によって宣誓書受領証を発行。他にも千葉市、大阪市、中野区が準備中だ。

「小さな頃から、何かおかしい、と一人で悩み続けて来た人も、自分だけじゃない、と少しでも楽になってくれれば」と自らも当事者としてカミングアウトし、関連政策に取り組んでいる尾辻かなこ衆議院議員が訴える。女子大も戸籍上は男性でも心の性別が女性を自認する学生を受け入れる動きが広がっている。

今、時代が動き始めている。

# 資本家はどこまで労働者を搾取するのか!!

**残**業時間の制限の天井は月に100時間、年間720時間。この100時間は過労死認定ラインの水準で、過労死した家族からは、批判が上がっている。また、720時間には休日出勤の時間数は含まれないという。どういうことなのか!

仕事が終わらなくて休日にも仕事をしている人こそ過労死の対象になるのに何ともザル法だ。忙しい時期の6カ月までは特例として平均80時間、これには休日の出勤が含まれている。

当初、周囲のサラリーマンたちが「休みの日に出たら720時間なんてすぐだよな」と話していた。が、休日出勤が含まれないとなると、青天井ならぬ黒天井となってしまった。

**高**度プロフェッショナル制度、これは年収1,075万円以上の金融商品開発やコンサルタント、研究開発、など一部の限られた専門職の人たちの残業代をゼロとするものだ。通勤費なども含むという。新幹線通勤の人などは響く。そして「など」が気になる。こんなやり方だとこの基準額を徐々に下げて行き、年収400万円まで引き下げて行く意向もあると聞くが、まさかがほんとなりかねない。派遣法も対象が徐々に広げられた。こちらも法改正でどんどん業種が拡がりかねない。

働き方は改革されていない。資本家はどこまで労働者を搾取する気か!働く人をもっと大切にしないとダメだよ。

## 8・9月の催し

※会場はいずれも平木事務所です



### 元気会 毎月第1土曜日 10時~11時30分

- 日 時: 8月4日(土)
- 内 容: 消費者問題最前線(最近の具体例等について)  
今伝えておきたい父から聴いた軍隊生活(平ヶ崎・男性)
- 日 時: 9月1日(土)
- 内 容: 憲法について考える  
(自民党の改憲草案及びヒロシマについて)
- ゲスト: 加藤一吉氏(日光市在住・産業カウンセラー)

その時々身近な問題を話し合っています。初めての方もお気軽にご参加下さい。



### 女性の茶話会 毎月第1水曜日 19時~21時

- 日 時▶ 8月1日(水)、9月5日(水)
- 会 場: 元気ネット事務所(日光市土沢1962)
- 参加費: 300円(軽食付き)
- 申込み: ☎0288-26-6739(前日まで)

※平木ちさこは、HP公式サイトまたはFBに、「今日の活動」を毎日アップしています。どうぞご覧ください。(平木ちさこで検索してください)

## 県政について、みなさんのご意見をお寄せください。



[Eメール] [hiraki-chisako@nifty.com](mailto:hiraki-chisako@nifty.com)

※平木ちさこの「元気ネット」ホームページは奇数月末日更新です。

※平木ちさこ公式サイト <http://hirakichisako.com>

平木ちさこ 検索

